

(1)事業の概要等

事業番号	B1503
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青少年健全育成推進事業					担当部			こども未来部		
	事業期間	平成12年度	～	令和7年度以降			担当課			こども政策課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	15	展開 方向	3	担当係			青少年育成係		
	予算区分	一般会計	款	10	項	5	目	4	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市青少年健全育成市民会議補助金要綱、小牧市立学校地域コーディネーター派遣事業実施要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	<p>青少年が、豊かな心と健康な身体を育み、次代を担う人として自主性、社会性を備えよう、青少年健全育成市民会議への補助を通じて、市民会議全体の活動のほか、各中学校区健全育成会の活動を推進し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>また、学校地域コーディネーターの活動を通じて、地域が学校を支援する機会と、中学生が地域活動に参加する機会を推進する。</p>										
	対象 (何・誰を対象に)	市民、小学生、中学生、中学校地域コーディネーター										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>青少年の健全育成を啓蒙するため、市民でつくる青少年健全育成市民会議へ補助を行う。平成28年度から展開している「笑顔で さきがけ あいさつ運動」を引き続き実施するため、チラシ・ポスターを作成し啓発を行い、6月と10月に市内一斉のあいさつ運動を実施する。いじめ・非行防止啓発活動、明るい家庭づくりの推進、ネット犯罪やトラブルから青少年を守る運動の推進などを行う。(市民会議の事務局は少年センター)</p> <p>学校地域コーディネーターを、各中学校へ1人～2人配置し、学校と地域のパイプ役として学校と相談しながら活動を行い、ボランティアの取りまとめや子どもたちの地域活動の推進を図る。</p> <p>【令和4年度決算】 3,870千円(一般財源 3,870千円) 7節 報償費 882千円 8節 旅費 1千円 10節 需用費 15千円 11節 役務費 93千円 18節 補助金 2,879千円</p> <p>【令和5年度当初予算】 5,659千円(一般財源 5,659千円) 7節 報償費 2,092千円 8節 旅費 10千円 10節 需用費 77千円 11節 役務費 140千円 18節 補助金 3,340千円</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	8,694	3,183	3,363	3,870
		国・県支出金	千円	—	—	—	—	
		その他	千円	—	—	—	—	
	計(A)		千円	8,694	3,183	3,363	3,870	
	対前年比		%	—	36.6%	105.6%	115.0%	
	予算額		千円	12,665	7,189	5,739	5,631	5,659
人件費	正規職員		人	0.40	0.40	0.40	0.40	
	正規職員(平均賃金)		千円	2,994	2,994	2,994	2,994	
	その他職員		人	3.00	2.00	2.00	2.00	
	その他職員(時給×時間)		千円	0	6,000	6,000	6,000	
	計(B)		千円	2,994	8,994	8,994	8,994	
事業費合計(C=A+B)		千円	11,688	12,177	12,357	12,864		

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		15	展開方向		3
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1	地域の大人とあいさつをしている中学生の割合	%	↗	85.9	85.4	89.7	90.7
2	中学生の地域活動への参加率	%	↗	89.0	27.0	20.1	40.9
3							

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5	
指標	成果指標	地域の大人とあいさつしている中学生の割合	%	目標	85.9	85.9	85.9	85.9	85.9
				実績	88.1	85.4	89.7	90.7	
	活動指標	学校地域コーディネーター活動実績(中学校)	時間	目標	1,668.5	1,668.5	1,668.5	1,668.5	1,668.5
				実績	1,427.0	628.5	676.5	881.5	
単 位 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—		
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—		

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの	
	事業の達成状況と課題	<p>令和2年度、3年度と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校地域コーディネーターが以前のような活動ができなかった。 令和4年度は前年度よりは活動できたものの、目標を達成することはできなかった。 学校地域コーディネーターの後継者育成や人材発掘が課題となっている。</p>	
事業の評価	<p>コロナ禍で学校と地域をつなぐような活動がストップしていたため、コロナ禍以前のように、学校と地域のパイプ役として活動が行えるようにする。</p>		
今後の実施内容			
事務事業評価による額	千円		節
			細節
		細々節	